

2021年度 (50期) 環境経営レポート

(対象期間：2021年5月21日～ 2022年5月20日)



2019年SCAJ ニコノス展示ブース



作成日：2021年11月20日

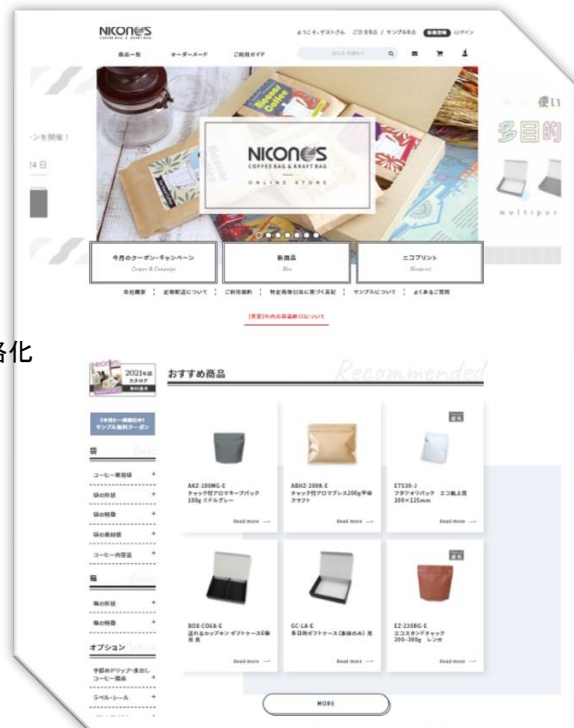
更新日：2022年9月8日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11

ニコノス WEBページトップ画面
<https://www.niconos.co.jp/>

2007.04 ホームページを開設
 2010.11 WEB事業部を開設し、通信販売を本格化
 現在に至る



ごあいさつ

近年、世界各国で自然災害の増加や、温暖化による生態系への影響が大きく取りあげられています。脱炭素社会の実現には、各個人の日常的な省エネ推進が必須と言えます。また、弊社は石油原料の包材を製造販売していることから、プラスチックゴミ問題は会社をあげて取り組むべき重要課題と言えます。

ニコノス株式会社は50年間にわたり、コーヒー業界を支える包装分野で商圏の拡大を図り、信頼できる企業として活動してきました。2020年より「コーヒーにも地球にも優しいパッケージ」を合言葉に、コーヒー袋の販売を通じて環境問題に積極的に取り組んでいます。これからも持続可能な環境経営を目指し、継続的な改善に努め、以下の項目に取り組んでいくことを誓約します。

環境経営方針

環境経営理念

「社員一人一人の力（power）を結集し、
安心安全で包む（package）技術を探求し、
求められるカタチを提案（proposal）する」

3つのPの基本理念に基づき、環境保全の継続的改善に取り組むとともに、環境にやさしい商品の企画・提案を進めて参ります。

環境保全への行動指針

1. 二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・給水量の継続的な削減に努めます。
電気、ガソリン等の使用量削減に努めます
3R活動の展開による廃棄物の削減・再資源化に努めます
節水活動による水使用量の削減に努めます
2. 環境に配慮した活動・提案を継続的に努めます。
資材や物品のグリーン購入に努めます
環境に配慮した商品の企画・提案に努めます
3. 社内において全従業員に環境経営方針を周知し、全員参加により取り組みを目指します。
4. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

制定日：2021年7月1日

代表取締役社長 片山 恵子

組織の概要

更新日：2022年9月1日

(1) 名称及び代表者名

ニコノス株式会社
代表取締役社長 片山 恵子

(2) 所在地

本社 大阪府大阪市都島区都島本通4丁目7番29号
大阪OFFICE 大阪府大阪市都島区都島中通2丁目22番15号
第2倉庫 大阪府大阪市都島区都島本通4丁目1番15号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 ゼネラルマネージャー 安藤 めぐみ TEL：06-6924-0348
担当者 特販部 吉川 朋子 TEL：06-6924-0348

(4) 事業内容

コーヒーに関する包装資材の企画・製造・販売

(5) 事業の規模

年間販売数量 30,220 千枚

	本社	大阪OFFICE	第2倉庫	合計
従業員 名	7名	20名	0名	27名
延べ床面積 m ²	240 m ²	230 m ²	282 m ²	752 m ²

(6) 事業年度

5月21日～5月20日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：ニコノス株式会社
対象事業所：本社
大阪OFFICE
第2倉庫

活動：コーヒーに関する包装資材の企画・製造・販売

□事業や製品(商品)の紹介

【コーヒー専用袋】

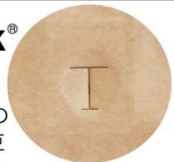


Aroma Keep Pack®

アロマキープパックのしくみ

アロマキープバルブ®は多層構造のフィルム製で、煎りたてのコーヒー豆から出るガスを袋外に放出し、外気(酸素)を遮断して鮮度を保ちます。長期保存対応コーヒー専用袋です。ボタンバルブに比べて、薄いフィルム製なので保管の省スペース化がはかれます。

アロマキープパック、及びアロマキープバルブはニコノス株式会社の登録商標です



【オリジナル印刷】ニコプリント

対応袋に1色印刷ができるサービス

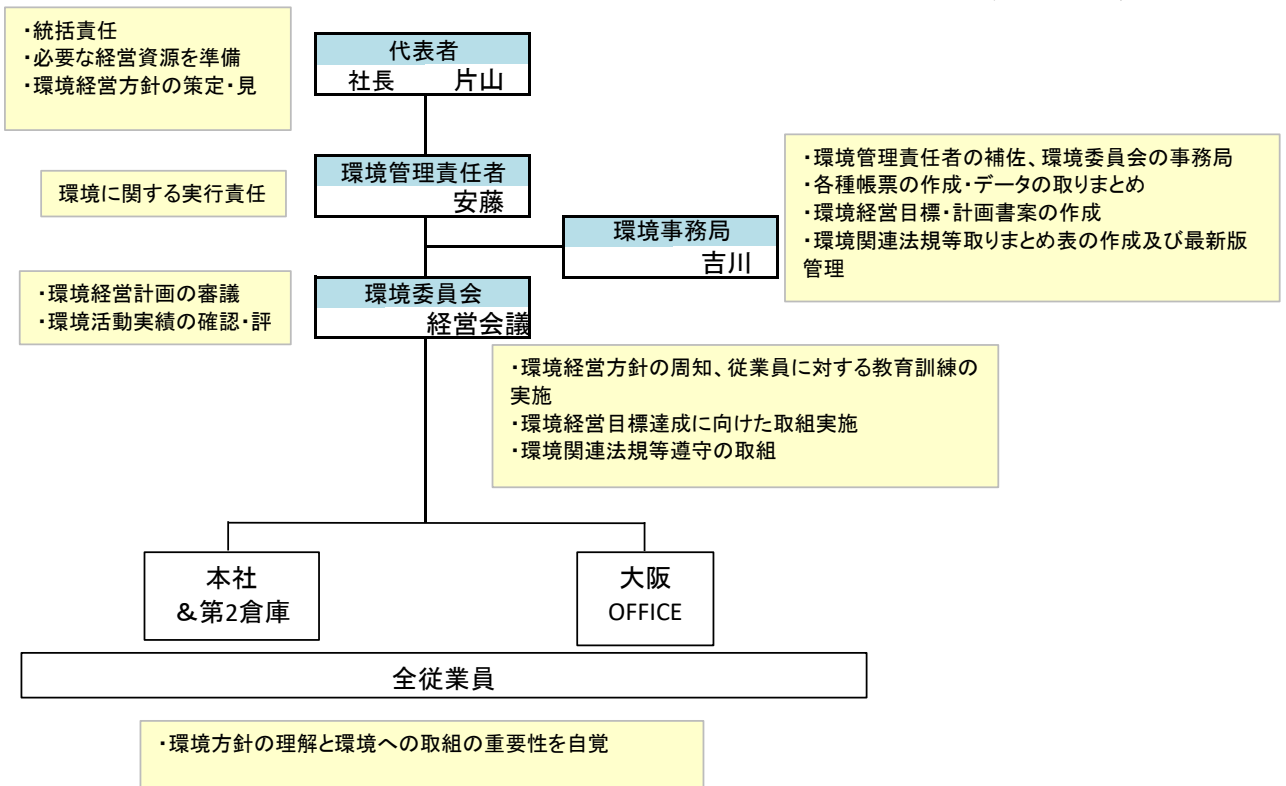


【ギフト対応】送れるクラフトケース 各種



環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2021年7月7日



主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂		24,988	24,986
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	k g		1,024	559
産業廃棄物排出量	k g		880	1,225
水使用量	m ³		326	384
※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）			0.318	0.318 kg-CO ₂ /kWh
※電力会社と採用年度			関西電力 2019年度	関西電力 2019年度

環境経営目標及びその実績

□環境経営目標及びその実績

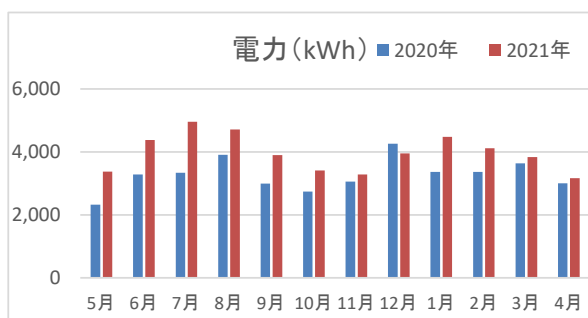
項目	年度	基準値	2021年		評価	2022年	2023年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	12,715	12,461	15,123	×	12,333	12,206
	基準年度比	2020年	98%	119%		97%	96%
	原単位	kg-CO2/千円	0.0204	0.0200	0.0207	×	0.020
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	12,273	12,027	9,863	○	11,905	11,782
	基準年度比	2020年	98%	80%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	24,988	24,488	24,986	×	24,238	23,988
一般廃棄物の削減	kg	1,024	983	559	○	963	942
	基準年度比	2020年	96%	55%		94%	92%
水道水の削減	m ³	326	313	384	×	306	300
	基準年度比	2020年	96%	118%		94%	92%
インクの適正管理		行動目標(次項による)					
環境に配慮した製品・サービスへの取り組み		行動目標(次項による)					
課題を解決しチャンスを活かす取組		行動目標(次項による)					

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標:○達成 ×未達成

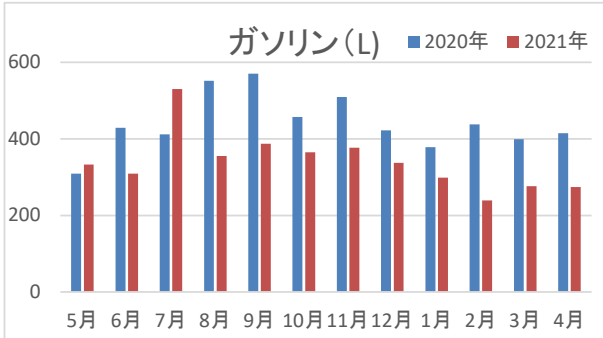
活動:○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	トータルとして119%増の結果となった。原因は2つと考える。1つは、基準の2020年は緊急事態宣言中、時短営業をしております。通常より使用量が少なかったところに、本年は売上増となり作業量も増えたため全体的に使用量が増加。もう一つは、商品の品質保持と従業員の労働環境改善のため、今まで使用していなかった場所・時間帯での除湿器・エアコンの使用を始めたことにより、夏場の電力の大幅増につながった。しかしこれは会社にとって必要な電気使用と考える。
原単位目標	×	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・業務の効率化による定時退社	○	



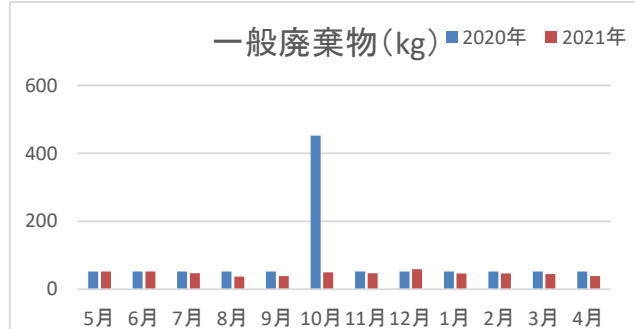
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2020年	2,321	3,284	3,338	3,911	2,998	2,739	3,055	4,261	3,366	3,366	3,636	3,002
2021年	3,373	4,379	4,958	4,713	3,898	3,409	3,287	3,949	4,475	4,113	3,836	3,167

自動車燃料による二酸化炭素削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		○	前年を大幅に下回る結果となった。 エコドライブを意識し今までの配達先を見直し、ルートや商品量によって配送に振り分けるよう臨機応変に対応するようになった。10月に3台中1台をクリーンディーゼル車に乗り換え。今後もエコドライブを意識した運転を心がける。
・アイドリングストップ		○	
・効率的なルートで配送		○	
・更新時にエコカーを選択		○	



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2020年	309	429	412	552	570	457	509	422	378	438	399	415
2021年	333	309	530	355	387	365	377	337	299	239	276	274

一般廃棄物の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		○	前年を大幅に下回っているが、前年10月に機密書類を廃棄した400kgが入っており、これを外して考えると前年の90%の結果となる。7月よりシステムを入れ替え受注書・請求書などをストックフォームから単票のA5、A4用紙に変更したことにより、紙のゴミが大幅に削減された。
・分別の徹底		○	
・帳票見直しによる印刷物の削減		○	

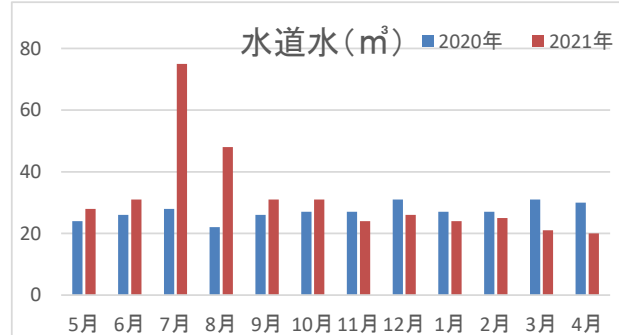


受注伝票・発注伝票・納品書・
出荷伝票・請求書 全て変更



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2020年	52	52	52	52	52	452	52	52	52	52	52	52
2021年	52	52	47	37	39	50	47	59	46	46	45	39

水道水の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		×	オフィス1階の男子トイレの故障、第2倉庫での水道管の破損により、今期は大幅に増えている。3月より第2倉庫の水の使用を停止した。今後は2拠点の使用となり、各拠点での節水を継続していく。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示		○	
・第2倉庫 水道管交換		○	
・漏水点検		○	



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2020年	24	26	28	22	26	27	27	31	27	27	31	30
2021年	28	31	75	48	31	31	24	26	24	25	21	20

インクの適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・容器の蓋の徹底	○	インクの購入日と使い切った日を管理し、適正使用を心がけており、それが印刷自体のロス率の低下にも影響している。空になった缶は調色時に使用しており、処分時も中を洗浄しアルミとしてリサイクルできる状態にしている。
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	
・代替物質の検討	△	

環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・環境に配慮した商品の販売	○	6月より遮光フィルムを使用した環境配慮型商品を発売(6月1、10月2、11月4 計7アイテム)。既製品は材質の見直しを継続していく。 来期よりWEBページに環境配慮型の商品の表示をして、お客様の認知度を高めていく。
・製品・情報の公開	○	



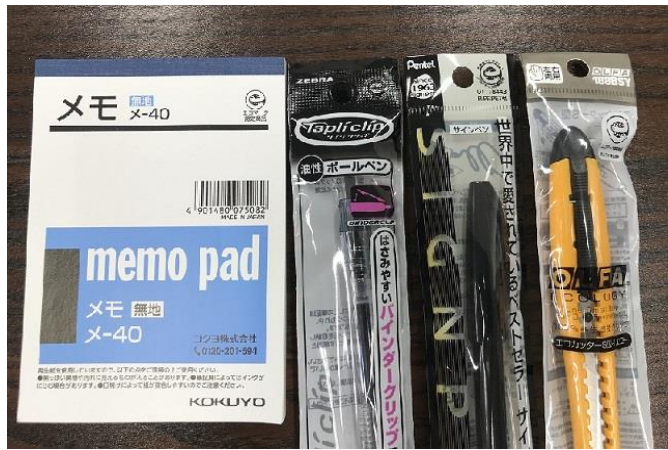
6月発売のチャック付アロマプレス平袋200g

アルミ層の代わりにバリア性のある環境配慮型の遮光フィルムと再生PETを採用した袋を発売しました。

「地球にも、コーヒーにも優しい袋」をコノスとして増やしていきます。

課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・BCP策定	○	今期新たにコロナウイルス対策のBCPを策定。 年々増える出荷件数に対応するためシステムを更新し、ピッキング時に一人ずつハンディー機器を使用してチェックするよう変更したところ、誤出荷の件数が減ってきており、業務効率UPにつながっている。
・出荷業務に関する仕組みの改善	○	
・事業拡大のための人材確保	○	

グリーン購入への取組



各事業所の取組紹介

<大阪OFFICE>



大阪オフィスに掲示板を作成し、情報共有。

< 本社 >

本社でもごみの分類を徹底するようになった。



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

環境関連法規制等名称	該当する設備・項目
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物(廃プラ)の保管・処理委託
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫の修理・廃棄時の適正処理と簡易点検
家電リサイクル法	エアコン、冷蔵庫・冷凍庫の廃棄時のリサイクル
顧客要求事項	環境管理、品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等

対象期間については苦情等はありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定: 火災の発生	
■実施日: 2021/9/28	■実施場所 本社
■参加者: 6名	
■実施内容: <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 全員で消火器の使い方の動画を見る。印刷機から火がでたことを想定して消火・避難訓練を行った。	
■評価:	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
訓練時の確認で2本あるうちの消火器の1本の消費期限が本年度末までと分かったため、新しい物を購入予定。	
■実施状況の様子	

緊急事態の想定: 地震の発生	
■実施日: 2021/9/29	■実施場所 大阪OFFICE 1階・2階
■参加者: 1階7名、2階6名 計13名	
■実施内容: 避難訓練 1階、2階それぞれで地震の発生を想定して避難訓練を行う。地震発生直後は身を守り、周囲の状況を確認した後	
■評価:	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
1階は出荷用の商品倉庫で机の下などにも商品があるので、身を守る場所が少ないため、出口に近い人は頭を守りながら直接屋外に避難する方がよいと判明。2階は地震が収まってから屋外へ避難。	
■実施状況の様子	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2022年9月1日

【当該年度の総括】

新型コロナウイルス感染症拡大が長期化し、外出を控える傾向が強くなった昨今、その影響で家庭におけるコーヒー需要が増加したことも要因で、弊社はコロナ前より販売量増が続いております。

エコアクション21の実践に関しては、廃棄物の分別や節電節水などをスタッフに周知浸透させるべく、目標や推移表を掲示して働きかけました。

◇電力による二酸化炭素削減

コロナ対策で時短営業をしていた昨年(2020年)と比較すると、電気使用量は増加する結果となりました。その要因としては、倉庫内の湿度温度管理の為に除湿機やサーキュレータを設置したことや、スタッフの作業負担軽減の為に、夏・冬期のエアコン稼働時間が増加したことによるものが大きいと思われます。また、新たにピッキング用IT機器を導入したことも要因だと考えられます。

◇自動車燃料による二酸化炭素削減

9月に車両を1台クリーンディーゼル車に買替え、有害物質の排出を抑えると共に、燃料費の高騰に対応しています。ムダを省いた計画的なルート選択ができていますので、今後も継続してガソリン使用量を抑えるよう努力をしていきます。

◇一般廃棄物の削減

販売管理のシステム改修を行い、従来の複写の連続伝票を単帳伝票に一新したことと、社員の意識変化で分別の徹底が行われた結果、紙などの廃棄量が大幅減となりました。

◇水道水の削減

トイレの故障、水道管破損など、水道の突発的なアクシデントが発生し、使用量が一時的に増加したことを除いては、人数の増加を踏まえた使用量で、安定して推移しています。

◇環境に配慮した製品・サービスへの取り組み

環境対応型の商品は、ユーザー側のエコ意識の高まりを実感できるので、今後も売上増加が期待できると確信しています。分別時に「紙」として廃棄できる製品の増販をはじめ、リサイクル原料を採用した製品を提供しています。新商品の開発時には環境対応型の製品であることを重要視しており、それらの商品が顧客からも認知され、支持されるよう、社内外で環境意識の向上に努めます。

◆今後の課題◆

リデュース(省資源)リユース(再利用)の商品企画・開発に取り組む必要があると考えています。また、このエコアクションの活動を社内だけでなく、地域における環境保全にも対応できるよう、自治体に働きかける必要を感じています。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり	
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり	(2021年度の実績を基準値とする)
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり	

□編集後記

エコアクション21の活動をスタートした時は、改善できる点が見つかるのか心配でしたが、1年を通した活動の結果たくさんの改善点が出てきたので、やはり「気づき」が大切だと実感しました。

また、活動を進めていく中で、「このごみはどっちだろう?」という質問がいろいろな人から出てきたり、ゴミの量の計測をお願いしているスタッフから「記録して可視化することで意識が変わってきますね。」という声をもらったりと、会社全体にエコアクション21の活動が浸透してきているのを実感することができて励みになりました。

コロナ禍の中でスタートを切った弊社のエコアクションですが、通年の結果をしっかり見直し、また新たな目標に向かって前進していきたいと思っております。

吉川 朋子